



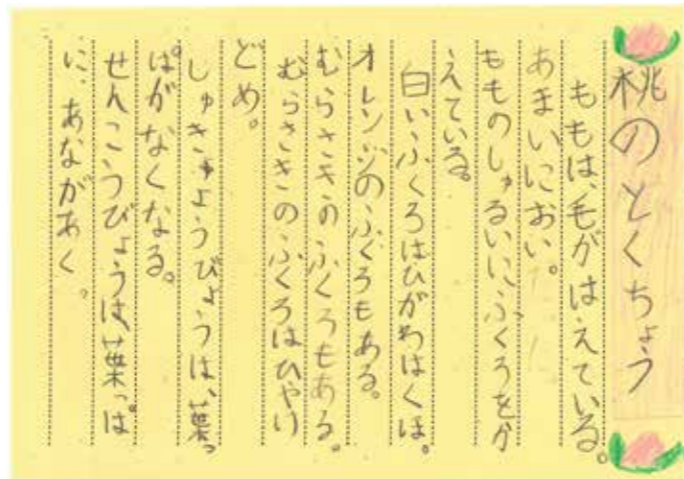
おいしさ いっぱい！ 中之口

中之口東小学校

桃

主な品種は、白鷗(はくおう)、なつこ、なつおとめ、ゴールデンピーチなど。夏の日差しをいっぱいにあびた甘いもを育てています。

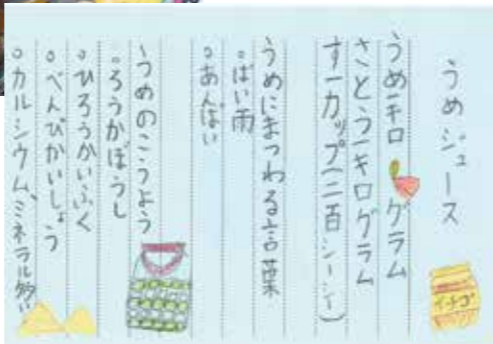
桃の花は、雄花と雌花があるんだよ。違いが分かるかな？ 筆で雄花の花粉を一つ一つ雌花に付けていくんだよ。



小さな桃に袋をかけよう。おいしくなあれ！ 甘い桃になあれ！



桃の実の重さを計る「フンタ」でどの箱に入れるのか音声で知らせてくれます。出荷の準備を体験しました。



イチゴジャム & 梅ジュース作り



ぶどう

巨峰、オリンピア、ロザリオピアンコ、シャインマスカット、甲斐路など高級ブランドの品種を中心に育てています。皇室御用達のぶどうを作っている農家も中之口にあります。



ぶどうの小さな花を一つずつ受粉するのは大変だけれど、甘いぶどうができるんだよ。



巨峰は、黒くて重い物が甘いよ。茎を持って落とさないように切ろうね。



来年もおいしいぶどうができるようにがんばって枝ひろいをしよう。

郷土料理 煮菜 & いもがら煮



地域の方に教えてもらいながら、郷土料理に挑戦。だしをかきかせて、おいしい煮菜といもがら煮ができました。



子ども声



ぼくが桃やぶどうの先生から教えてもらったことで一番心に残っていることは、毎年気温がそろわないとおいしくならないことです。ぶどうは、雨が多く湿度が高い日が続くと、うまく育たないそうです。太陽が出ないと、どんなに毎年たくさんの世話をしても実ができないそうです。また、愛情をこめて育てるとおいしくなることもわかりました。僕たちは花粉付けからお世話をしてきた桃やぶどうを収穫して、家に持って帰りました。家族で食べたら、買っているものよりとってもおいしかったです。



私が桃とぶどうの畑に行って体験して分かったことは、おいしいくだもの育て方です。花粉付けから始まり、病気になるための薬かけや袋かけ、肥料やりや下草の世話など農家の人はたくさんのお世話を毎年やっています。特に大変だと思ったことは、ぶどうの花粉付けや摘花です。200から250のぶどうの花を一つずつ全部手でやっていることはすごたいへんだと思います。それでとってもおいしい桃やぶどうができることがわかりました。